

令和4年度事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症については、デルタ株から感染力の強いオミクロン株への置き換わりが進むなど、一昨年から世界的規模で感染が広がり、市民生活活動や社会経済活動に甚大な影響を与えています。

わが国においても、感染予防のためのワクチンの追加接種や治療薬の開発が進んでいるものの、この先も、感染症の収束が見通せない中、当面は、事業の拡大が見込まれない厳しい環境にあるものと認識しております。

当センターにおいても、感染拡大に伴い、コロナ禍で全体的に就業機会が減少することなどにより、契約金額にも大きな影響を受けました。

しかし、このような中においても、シルバー人材センターは、「地域の日常生活に密着した仕事を高齢者に提供し、活力ある地域社会づくりに寄与する」という理念をもつ公益的団体として、引き続き、高齢者の就業による生きがいの充実を図りながら、地域の各分野における重要な担い手として、事業を安定的に継続していかなければなりません。

そのため、令和4年度も、このコロナ禍において、ウィズコロナ・アフターコロナという「新たな日常」のもと、感染症の拡大防止策の徹底を図るなど、会員の安全と安心の確保を最優先させながら、時代や社会の大きな変化に即応し、次に掲げる事業実施計画に基づき、より斬新で積極的な取組みを推進してまいります。

2 事業実施計画

(1) 積極的な広報戦略（組織的な広報活動）の実施

会員の拡大を図っていくためには、高齢者の方々に当シルバー人材センターの魅力をいかにアピールできるかが重要であると考えております。

そのため、次のとおり積極的な広報戦略を実施することで、シルバーのイメージアップを図るとともに、きめ細やかな情報発信に努め、事業の普及・拡充や会員の拡大につなげます。

- ① DVDなどわかりやすい媒体を活用した「お仕事説明会」の開催
- ② 「出張お仕事説明会」や「女性のつどい」の開催
- ③ ハローワークにおける「就業相談コーナー」の開催
- ④ 会報「シルバーとやま」の発行（年3回）
- ⑤ 市広報での事業のお知らせ等を掲載（年4回）
- ⑥ 公共機関等でのポスター掲示やリーフレットの備え付け
- ⑦ 社用車等でのポスター広告によるPR〔新規〕
- ⑧ 高齢者向けイベント、地域イベント等でのチラシ配布
- ⑨ 一般家庭への「会員募集用チラシ」の地域ごとへの計画配布
- ⑩ 「シルバーの日」をはじめとした清掃奉仕活動の実施
- ⑪ シルバー人材センター事業の普及啓発を目的とした「シルバーフェスティバル」の開催〔新規〕
- ⑫ コミュニティテレビや地元ラジオ局等のメディアを活用した各種情報の随時提供
- ⑬ ホームページを活用した各種情報の随時提供（リニューアル）
- ⑭ 富山県シルバー人材センター連合会・富山県生涯現役促進地域連携事業推進協議会及びハローワークとの連絡・連携の強化

（2）会員数の増強と就業率の向上

シルバー事業の推進を図るためには、高齢者人口の増加に反して減少傾向にある会員数の増強が不可欠です。

このことから、会員数の少ない地域などでの「出張お仕事説明会」や「女性のつどい」の開催のほか、ハローワークでの「就業相談コーナー」や企業訪問等による定年退職者の勧誘などで、新規会員の獲得を目指します。

また、女性部会を中心に、主婦層などをターゲットにしたワークショップを開催するなど、女性会員の拡大に努めます。

併せて、簡単に早く、どこからでも入会（仮）手続きが行えるよう、ウェブによる入会申込手続きについても検討・準備を進めます。

さらに、退会者の抑制についても、未就業会員や就業機会の少ない会員などに対し、これまで以上にきめ細やかで、より踏み込んだマッチングに取り組むとともに、会員の高齢化が進む中、多様化する会員の就業ニーズに応えるため、

新たな職種や就業場所の開拓に積極的に努め、会員数の増強と就業率の向上を目指します。

また、高齢などにより、就業を目的としない会員に対し、ボランティア活動などを生きがいとした会員登録制度についても、検討を進めます。

(3) 受注の拡大

安定した事業運営を図るため、市に対し当センターの積極的な活用について要望するなど、受注割合の少ない公共事業を重点とした新規発注先の掘り起こしに努めるとともに、市と連携・協力しながら、「放課後児童クラブ等における会員の就業促進事業」や「空き家見守りサポート事業」の定着及び「保育所における玩具等の消毒業務」や「高齢者等のゴミ出し支援事業」など、時代のニーズにマッチした事業に係る受注への働きかけを行い、職域や就業機会の拡大に努めます。

また、継続契約者や過去に受注のあった企業への訪問活動を計画的かつ積極的に実施し、継続契約の確保・拡大や新規就業の開拓を図ります。

(4) 派遣事業の拡大

シルバー事業の「裾野」を広げていくためには、シルバー派遣事業の拡大が不可欠であると考えていることから、事業推進班を中心として、積極的に新規の契約増を図ります。

また、今後とも、富山県シルバー人材センター連合会と連携しながら、きめ細かなマッチングを行うことなどにより、派遣事業の拡大に努めます。

(5) 独自事業の推進〔新規〕

従来から、剪定作業で排出された枝葉で、土壌改良材やEMボカシを製造し、販売する「剪定枝葉リサイクル事業」を行っていますが、剪定に従事する会員数が年々減少していることから、製造数が大幅に減少しており、需要に対し、供給ができていない状況にあります。

今後、剪定作業における後継者の育成と併せて、製造工程の効率化を図りながら販売数を増加させ、この事業を安定的に継続することにより、環境保全に

も努めます。

また、令和3年度から、大沢野連絡所及び婦中連絡所の事務室内のスペースに、新たにひと針工房を設置し、洋服のお直しはもとより、古着・古布をリメイクした洋服や小物などの販売を行っていますが、販売実績が伸び悩んでいることから、大沢野連絡所の車庫の壁面広告やポスターの作成、イベント等での展示即売会の開催などにより、ひと針工房のPRに努めます。

市民向けのカルチャー教室については、現在9教室（7職種）を開催していますが、今後、講師を務める会員を募り、職種の拡大に努めます。

さらに、女性会員向けの新たな事業展開を図るため、先進シルバー人材センター等を参考にしながら、新規の独自事業について検討を進めます。

（6）安全・適正就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センター事業の原点であります。

今後とも、「安全就業基準」の遵守徹底などに組織をあげて取り組むとともに、事故の発生情報等について、関係会員と役職員が情報を共有することで、就業中の事故だけでなく、就業途中における交通事故防止などに努めます。

また、令和3年度も、不注意による傷害事故や草刈り作業による同様の損害賠償事故が多発していることから、作業手順書を作成し、作業の標準化を進めることにより事故の防止を図るとともに、事故原因を追究し、事故防止策を徹底することで、再発防止に努めます。

さらに、計画的にきめ細かく安全パトロールを実施することにより、安全就業をより徹底し、事故発生件数“ゼロ”を目指します。

安全就業の更なる徹底には、会員のモチベーションの向上も重要であると考えられることから、今後、先進シルバー人材センター等を参考にしながら、安全標語の募集や無事故表彰等の実施について検討を進めます。

一方、センターが地域の雇用や会員の就業ニーズに応え、社会に貢献していくためには、法令遵守の徹底による適正就業の推進に努めていく必要があることから、引き続き、国の「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、就業内容を不断に見直しすることにより、適正就業の更なる徹底に取り組みます。

(7) 研修の充実

発注者からの需要の高い職種について、会員を対象とした技能取得講習会や
接遇研修を開催し、技術・技能等の向上を図るとともに、会員不足等から供給
不足が発生している樹木剪定や雪吊りなどの職種についても、技能後継者を育
成するための講習会を開催します。

また、草刈作業における事故が多発していることから、事故防止対策の一つ
として、安全な機械の取り扱いや作業方法についての講習会を実施します。

さらに、事務局職員の意識改革を図るため、ビジネススキル等の研修会の実
施や講習会への積極的な参加を推進することにより、資質の向上に努めます。

(8) 女性会員の活躍の推進

当センターにおける女性会員比率は約4割ですが、高齢者に占める女性割合
等を考慮すれば、今後、今まで以上に女性の方々に入会していただき、様々な
分野で活躍していただくことが望ましいと考えられます。

そこで、昨年発足した女性部会「ひまわり」を中心に、会員と役職員が一体
となって、創意工夫を凝らしながら、女性目線に立った積極的な事業を企画・
実施することなどにより、女性会員の活躍の推進に努めます。

(9) ICTを活用した利便性と事務効率の向上

コロナ禍における「新たな日常」のもと、会員や発注者の利便性を向上させ
るとともに、事務効率の向上を図るためには、ICT（情報伝達技術）を活用
した取組みが不可欠です。

そのため、令和4年度から、メール配信サービスを活用し、会員、発注者及
び職員に、スピーディーに様々な情報提供などを行う予定としているところで
あり、今後は、就業報告書等の各届出書のIT化やウェブによる入会申込手続
き等の検討・準備を進めます。

(10) 財政の健全化と経営改善

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会経済情勢が大きく変化して

いる中、当センターでは、持続可能で安定的な団体運営を確保することにより、これからも継続的に、超高齢社会における地域の担い手として、高齢者の健康・生きがいがづくりの推進や地域経済の活性化に寄与していくことが大きな課題となっております。

そのため、会員数の増強や受注の拡大などの経営基盤を強化しながら、次のとおり財政の健全化と経営改善に積極的に努めます。

- ① コンパクトで効率的に機能する組織体制の構築・維持
- ② 職員数の適正化による総人件費の抑制
- ③ 各業務におけるアウトソーシングやIT化の推進等による費用の削減
- ④ 事務局職員の意識改革推進による士気・モチベーションの向上

(11) 第6次中期計画の策定〔新規〕

平成29年度に策定した第5次中期計画が今年度で終了することから、令和4年度に、第6次中期計画（令和5年度～令和9年度）を策定します。

(12) インボイス制度導入に係る対応〔新規〕

令和5年10月から、消費税制において、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されます。

インボイス制度がシルバー人材センター事業に、このまま導入されれば、センターの事業運営に大きな課題が生じることから、今までも、関係機関等に、特例措置の実現を強く要望しているところであり、今後とも、粘り強く要望を行います。

また、特例措置が実現しない場合に備えて、富山県シルバー人材センター連合会や県内の他センターと十分連携しながら、所要の検討・協議を進めます。